

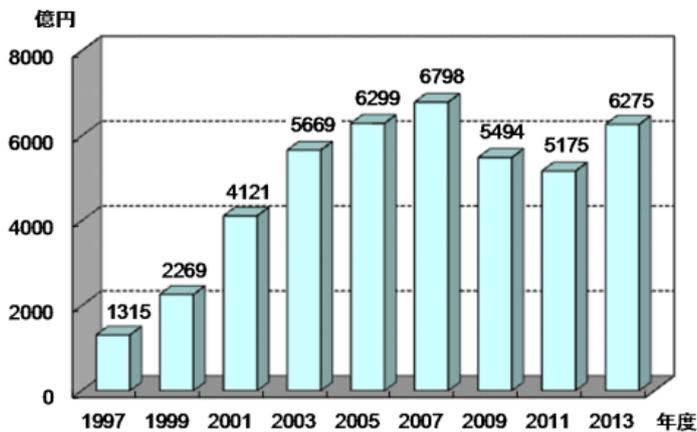
科学的根拠をアピールして売る

～ トクホの歴史と制度 ～

特定保健用食品（通称トクホ）は、国が食品に「健康に役立つ」表示を許可する世界で初めての制度で、1991年にスタートしてから20年以上経過しました。多くのヒット商品が生まれながら、2013年12月末の表示許可・承認の品目数は1095となり、2013年度の市場規模は6,275億円になっています。



【特定保健用食品の市場規模の推移】



科学的根拠をアピールして消費者の購買意欲を高めてきたトクホは、メタボリック(内臓脂肪)症候群対策など健康志向の消費者の支持を集め、ピークの2007年度は6,798億円の市場規模となりました。しかし2009年に「体に脂肪がつきにくい」とうたった食用油が、体内で発がん性物質に変化する可能性のある成分が含まれる

として販売を自粛するメーカーが出てきて、トクホの信頼が揺らぎました。その後、トクホで初のコーラが登場したり、缶コーヒーや緑茶の新製品が次々と登場するなどして市場規模は回復するようになりました。

トクホの許可では、食品メーカーが人を対象とした膨大な試験データを消費者庁に提出し、消費者委員会や食品安全委員会が個別に数カ月から数年かけて審査します。しかしトクホは特定の生活習慣病などになる前の人、または境界線上の人に適用範囲が限られているため、効果を実感しづらい面があります。また試験に参加した人と健康状態が同じでないと摂取で得られる効果も違ってきます。病気を治す効果まで確認されていないので、薬の代用にもならないことを消費者は認識する必要があります。

【表示内容】

- お腹の調子を整える食品
- 血圧が高めの方に適する食品
- コレステロールが高めの方に適する食品
- 血糖値が気になる方に適する食品
- ミネラルの吸収を助ける食品
- 食後の血中の中性脂肪を抑える食品
- 虫歯の原因になりにくい食品
- 歯の健康維持に役立つ食品
- 体脂肪がつきにくい食品
- 骨の健康が気になる方に適する食品